

養成する人材像

人文社会科学研究科全体

グローバル化や少子高齢化、情報化といった急激な社会の変化の中、労働市場や産業・就業構造の流動化によって将来予測が困難な時代を生き抜くために、高度専門職業人又は研究者として、「人間性」や「社会システム」の視点から、人間と社会が抱える複雑かつ多様な課題を学問的に分析できる能力及び創造的かつ実践的な解決策を提案し得る能力を身に付け、持続可能な社会の実現に貢献することができる人材を養成する。

言語文化専攻修士課程

複言語・複文化主義の見地に立ち、特定の言語・地域・時代に捉われることなく、広く言語文化の多様性と普遍性に対する理解を深め、高度で深遠な専門知識と広範な教養を持つ人材を養成する。特に多様な文化的価値観が混在する現代のグローバルな社会状況において、複数の言語運用能力とその背景となる多様な文化的・歴史的知見に基づき、人間社会の根幹を形成する種々の言語文化活動を対象として、今日の社会の諸問題について深く考察し研究を行うことができる自立的な言語・文化・歴史研究の研究者、初等中等及び高等教育機関における語学の教育者を養成する。

学位授与の方針（DP）

- DP1【共通】：研究に従事する者として、法令を遵守し、高い倫理観を持って行動することができる
- DP2【共通】：高度な研究手法を身に付け、主体的に研究活動を行うことができる
- DP3【共通】：自らの研究成果を文章および口頭により、説得力ある言葉で他者に的確に説明することができる
- DP4【共通】：グローバルな視点や学際的な視点から現代社会に生起する諸課題を理解し分析することができる
- DP5【専攻】：学際的見地及び科学的・学問的な立場から、言語文化の諸領域を横断的に俯瞰できる
- DP6【専攻】：世界の多様な言語文化の特色と普遍性を深く理解し、体系的な知識と幅広い教養に基づき、独創的な研究を行うことができる
- DP7【専攻】：英語及びその他の外国語の高度な運用能力（複言語能力）を備え、それを専門分野の研究に役立てることができる。

教育課程編成・実施の方針（CP） 要点 < まとめ >

学位授与の方針（DP）

教育課程編成・実施の方針（CP） 要点 < まとめ >			学位授与の方針（DP）	
研究科共通 科目	研究者基礎力養成科目群	研究を遂行する上で必要となる基礎力を身に付ける	DP1～DP3	
	現代的課題科目群	現代社会に生起する多様な諸課題に関する学際的知識を身に付ける	DP4	
	留学生支援科目群	外国人留学生の日本語による論文執筆能力を向上させる	DP3	
	教職支援科目群	中等・高等教育現場における諸課題について思考する能力を身に付ける	DP4	
専攻固有科目	総合科目	「言語文化研究基礎」、「言語文化特別講義」、「アカデミック・スキルズ」、「リサーチ・メソッド」、「エクスポジトリ・ライティング」 専門教育の分野に即した実践的研究方法や理念を身に付ける	DP1・DP2 DP7	
	専門科目	言語学科目群※	現代の言語学の諸領域を包括的に学修する	DP5～DP7
		英語学科目群※	現代の英語学の諸領域を包括的に学修する。	DP5～DP7
		英語圏文化科目群※	英語圏の多様な文化を広く学修する	DP5～DP7
		世界の文化科目群※	世界の多様な言語圏の文化を広く学修する。	DP5～DP7
		英語科教育科目群※	英語科教員を目指して専修免許状の取得を目指す学生が、英語科教育について包括的に学修する	DP5・DP7
		研究指導科目群	研究指導教員が、修士論文の作成に直結する指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文を完成する	DP1～DP4 DP5～DP7
論文執筆指導科目群	研究指導教員以外の教員が副指導教員として、修士論文執筆のための補完指導を行い、学生は研究の成果物としての修士論文を完成する	DP1～DP4 DP5～DP7		
修士論文、最終試験（口頭）		「中京大学大学院人文社会科学研究科修士学位申請及び審査に関する内規」に定める修士論文等の審査基準を満たしている	DP1～DP3 DP5～DP7	

※科目名称に特論を含む科目は、専門知識や技術についての理解を涵養することを主たる目的とし、演習を含む科目は、特論で修得した知識や技術に基づき、創造的な教育研究の実践的訓練を行うことを主たる目的とする。

入学者受入れの方針（AP）

- (知識・技能) AP1【共通】論理的な文章を作成する能力を有している
- (思考力・判断力・表現力) AP2【共通】一定の根拠に基づいて自らの判断で物事を考え、自らの意見を形成することができる
- AP3【共通】自らの問題意識を研究計画書等に整理してわかりやすく他者に伝えることができる
- (意欲・態度) AP4【共通】研究に真摯に取り組み、社会に貢献する志を有している
- AP5【共通】研究課題について、主体的に研究を遂行する意欲を有している
- AP6【共通】研究に携わる者として必要不可欠な倫理観を有している
- AP7【共通】専門領域に限定せず、現代社会に生起する諸現象、諸課題に深い関心を有している
- (知識・技能) AP8【専攻】言語文化研究の諸領域に亘る学士水準の基本的知識を有し、それについて論理的に論述する能力を有している
- AP9【専攻】専門分野に関する外国語文献資料の基礎的な読解力を有している
- AP10【専攻】外国人留学生は、日本語能力試験 N2 レベル又はそれに準ずる日本語能力を有している
- (思考力・判断力・表現力) AP11【専攻】資料やデータを論理的に分析し、対象に対する意見や見解を形成し提示することができる
- AP12【専攻】資料やデータに基づいて、論理的かつ客観的な批評的評価を下すことができる
- AP13【専攻】社会人学生及び外国人留学生は、これまでの学修歴や社会経験を言語文化研究に関連づけて思考し、言語文化研究に関わる新たな問題を発見する能力を有している
- (意欲・態度) AP14【専攻】言語文化研究に対する真摯な知的関心を以て研究に取り組む意志と態度を有している